

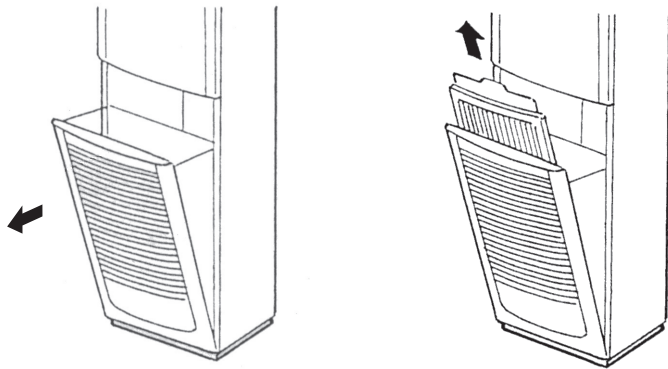
三菱パッケージエアコン別売部品 クリーンフィルター取扱説明書

型名	PAC-SF07KF
----	------------

フィルターの清掃

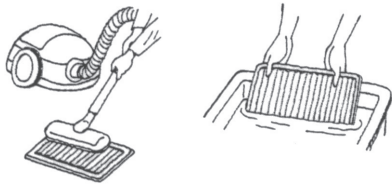
(1) フィルターを取出す。

- 吸込グリル取手部のネジを取り外し、吸込グリルを矢印の方向に開いてください。
- 吸込グリルを開いてください。フィルターの取手を持って、矢印の方向に引き上げて外してください。



(2) フィルターのホコリを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



(3) 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直接日光や直接火にあてて乾かさないうでください。

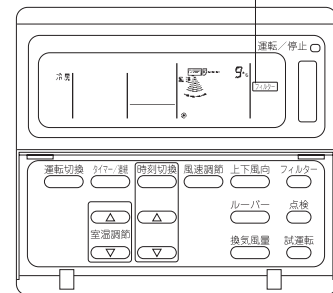
(4) フィルターを元の状態に取付ける。

(取外しの逆の手順)

フィルター清掃時期

リモコンに“フィルター”（フィルタークリーニングサイン）表示を点滅させてお知らせします。（ワイヤードリモコンの場合）
 ※フィルターの清掃時期はフィルターの種類によって異なります。
 運転積算時間でクリーンフィルター：約100時間
 ロングライフフィルター：約2,500時間です。

フィルタークリーニングサイン

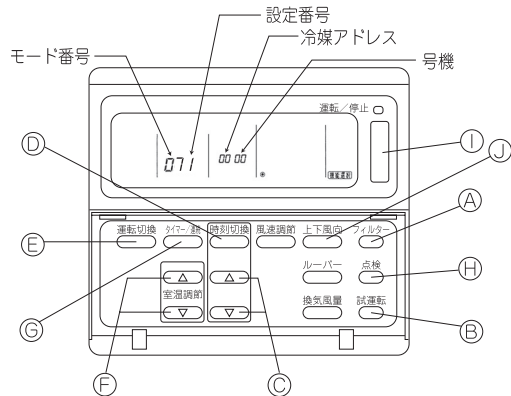


“フィルター”表示をリセットする

- (1) フィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押す。
 - （フィルター）ボタンを2度続けて押すと、リモコンの“フィルター”が消えリセットされます。
 - 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。（クリーンフィルター：約100時間、ロングライフフィルター：約2,500時間）。清掃時期の短い時間により“フィルター”表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。
 - “フィルター”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

フィルタークリーニングサイン表示時間変更

【操作手順】



- ① リモコンを停止にします。
 A [フィルター] と B [試運転] ボタンを同時に 2 秒以上押します。
 [機能選択] が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下図の表示になります。

- ② 室外ユニットの冷媒アドレスNoを合わせます。
 C [時刻切換] (時刻切換) ボタンを押すと冷媒アドレスNoが 00~15 の間で前後するので機能選択したい冷媒アドレスに合わせます。



※ [機能選択] および室温表示部に「88」を 2 秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

お願い 途中で操作を間違えた場合は、一度 D [時刻切換] にて機能選択を終了し、再度 ① より操作を行なってください。

- ③ 室内ユニットの号機を合わせます。
 D [時刻切換] ボタンを押し、号機表示部「--」を点滅させます。

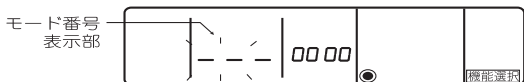
- E [時刻切換] (時刻切換) ボタンを押すと号機が 00→01→02→03→04→AL と変化するので機能選択したい室内ユニットの号機に合わせます。



- ☞ 表 1 で停電自動復帰、室温検知位置
- ☞ ロスナイ接続のモードを選択したい場合 → " 0 0 "
- ☞ 0 1 ~ 0 4 号機個別に設定したい場合 → " 0 1 ~ 0 4 "
- ☞ 0 1 ~ 0 4 号機一括で設定したい場合 → " A L " (オール)

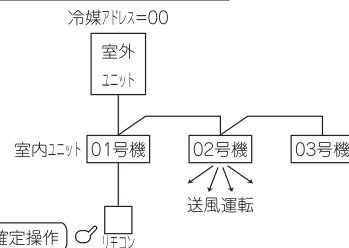
- ④ 冷媒アドレス、号機の確定
 E [運転切換] ボタンを押し、冷媒アドレス、号機を設定します。
 しばらくするとモード番号表示部「--」が点滅します。

- F [運転切換] ボタンにて確定操作をすることにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのを知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が 00、AL の場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。



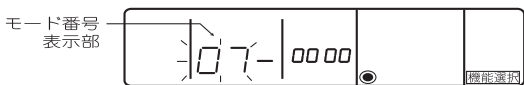
例) 冷媒アドレス=00、号機=02 確定時の場合

※ 室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。
 また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレスと号機が点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。②、③にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。



※ 異冷媒システムでグループング時、指定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。再度、室外ユニットのディップスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

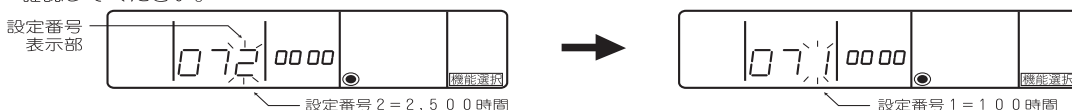
- ⑤ モード番号の選択
 F [室温調節] (室温調節) ボタンにより設定したいモード番号を設定します。
 (設定可能なモード番号のみ選択できます。)



モード番号 0 7 = フィルタサイン

- ⑥ 選択したモードの設定内容を選択します。
 G [タイマー/連続] ボタンを押すと、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。

- H [室温調節] (室温調節) により設定番号を選択します。



設定番号 2 = 2.5 0 0 時間

設定番号 1 = 1.0 0 時間

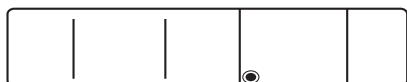
- ⑦ ②~⑥の設定内容を確定させる
 I [運転切換] ボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し、登録を開始します。

- J [運転切換] ボタンを押すと、モード番号、設定番号の点滅が点灯になり、設定が完了します。



※ モード番号および設定番号が「--」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

- ⑧ 機能選択を終了します。
 A [フィルター] と B [試運転] ボタンを同時に 2 秒以上押します。
 しばらくすると機能選択画面が解除され、空調機停止画面へ復帰します。



※ 機能選択終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。(操作しても受け付けません。)